忍者ブログ

まったりの天幕生活

２００４年から始めたｂｌｏｇ。古代史がらみのHP「蝦夷を訪ねて」も立ち上げてしまった。そこで、このｂｌｏｇをインドア系のｂｌｏｇに、HP「蝦夷を訪ねて」をアウトドア、土地の由来、地域関連にテーマを分けた。

ブログ内検索

検索

プロフィール

ＨＮ：
どら部屋のどら
ＨＰ：
蝦夷を訪ねて
性別：
男性
趣味：
最近キャンプやってないなぁ
自己紹介：
２００５年以前はキャンプにベッタリでしたが、
山歩きにハマった２００６年。
森をあるき、山小屋で休み、山頂からの写真をとる。
時々、トホホ登山をしたりもする（←命がけデス）

【趣味いろいろ】
●ガーデニング
山→緑→庭→ガーデニングと園芸・造園（？）も趣味になりつつ。
多肉植物にも手を出しはじめました。
カテゴリにガーデニングあります。

◎mixiにはまってル！？

●古代東北地方にいた民族「蝦夷（エミシ）」
小説「火炎」を読んで以来、岩手県の地元の所縁の地を訪ねます。

アクセス解析

カウンター

常念岳手前にて　２０１６年８月

蝶が岳から、常念岳の途中、ガスが多いが日差しもある暑い山行中のこと。

すれ違う男性登山客から。
結構元気な声、挨拶と関西の発音まじりで「予備の水もってませんか？」との問いがあった。
水がないのか。
俺も２リットル弱しかない。これからの下山。
常念小屋の補給を予定しているが。
予備はない旨、答えた。

彼は残念そうに、蝶が岳方面へ向かった。
その後をきれいな方？が暗い雰囲気でついて行った。

その数分後、少し離れたところから、どなる声が聞こえた。
「これから横尾まで２時間のはずがありえないだろ！」
さっきすれ違った男性が、連れをどなり散らしている感じだった。

これから、横尾まで下るのか。
結構かかりそう。俺もだけど。
そのコースがどれだけかかるか、不明だが、水がきれたみたいだ。
あの会話からさっするに、常念小屋で水分補給をせず、常念岳山頂を通過、
上高地まで下山のコースと思われる。
その山行中の水担当をお連れの方に任せたらしい。
コースタイムと山歩き初心者っぽいお連れさんはうっかりと少しの水だけだったのか。
リーダーは男性としたら、コースタイム、装備確認はリーダーじゃあない？
ちゃんと、スタートと到着予定時刻を考え、歩いたのか？

あの軽装からすると、小屋どまりも浅く、リーダー経験も不足している感じか。
あの二人はケンカなどせず無事ついたかな？

拍手する [0回]

カレンダー

最新CM

えみしを訪ねて

カテゴリー

リンク

アーカイブ